

紹介受診重点医療機関の選定意向について

(令和8年2月末までに再編や二次医療圏を越える移転の予定がある医療機関)

大阪府知事様

<提出日> 令和7年1月22日

<再編等後医療機関>

名称 近畿大学病院

所在地 大阪府堺市南区三原台1丁14番1号

<申請者>

法人又は個人の名称 学校法人 近畿大学

代表者 理事長 世耕弘成

住所または所在地 大阪府東大阪市小若江3-4-1

当院は令和7年11月に再編等（再編や二次医療圏を越える移転）を行う予定です。

再編等後の当院における紹介受診重点医療機関となる意向の有無については、「意向あり」とします。つきましては、別紙の理由書を提出します。

【留意事項】本理由書の記載内容は、紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議に使用しますが、理由書の提出により、自動的に「紹介受診重点医療機関」として選定される訳ではありません。

理由書

(再編等の予定があり、再編等後の医療機関について紹介受診重点医療機関への意向がある理由)

<医療機関名称> 近畿大学病院

再編等後の医療機関について、紹介受診重点医療機関への意向がある理由は下記のとおりです。

※以下を参考に、理由の記載をお願いします。

- ・再編・移転前後の紹介受診重点外来の実施状況（見込み）
- ・地域の外来機能の明確化・連携の推進のための取組（例：再編・移転後の外来における人材の配置予定数や高額等の医療機器・設備の保有予定、地域における外来医療の連携体制の構築状況など）

(1) 病院概要

	現病院（南河内医療圏）	新病院（堺医療圏）
許可病床数	919 床	800 床
診療科数	35 診療科	35 診療科
1 日平均患者数（入院）	752 名	720 名（見込み）
1 日平均患者数（外来）	2,202 名	2,300 名（見込み）

(2) 再編・移転前後の紹介受診重点外来の実施状況

当院は、令和 7 年 11 月に南河内医療圏から堺市医療圏へ移転予定です。

令和 6 年度外来機能報告において、基準は下記の表のとおり充足しております。移転後も下記 (3) のとおり、外来における人材配置状況、高額等医療機器・設備の保有状況などは、これまでと大きく変わらないため、移転後も同水準を見込んでおります。

初診外来	再診外来	紹介率（参考水準）	逆紹介率（参考水準）
77.1%	30.2%	80.6%	80.0%

(3) 地域の外来機能の明確化・連携の推進のための取組（例：再編・移転後の外来における人材の配置予定数や高額等の医療機器・設備の保有予定、地域における外来医療の連携体制の構築状況など）

移転後の職員数は、病床は 919 床から 800 床へ減床となりますが、重症部門の配置を手厚くするなど職員数については、現病院と大きな変更はありません。

高額医療機器・設備については、主に放射線関連機器となりますが、現病院から増加するものは、ハイブリッド手術室 1 室増、血管撮影室 1 室増となります。

地域との連携体制ですが、地域の医療機関との紹介・逆紹介は常に行っており、連携登録医は 800 施設を超えている状況です。連携登録医については、南河内医療圏だけでなく堺市医療圏、泉州医療圏等、南大阪全域にわたっており、医療圏を超える移転となるものの、これまでどおり各施設とは連携を予定しています。

(4) 移転後に予定する医療提供体制:予定入院料・病床数

	現病院（南河内医療圏）	新病院（堺医療圏）
救命救急入院料 3	30 床	(3→4 に変更) 8 床
特定集中治療室管理料	10 床	24 床
脳卒中ケアユニット入院医療管理料 1	12 床	12 床
ハイケアユニット入院医療管理料 2	－	12 床
新生児特定集中治療室管理料 1	9 床	9 床
新生児治療回復室入院医療管理料	18 床	6 床
小児入院医療管理料 2	43 床	28 床
特定機能病院一般病棟 7 対 1 入院基本料	797 床	701 床
計	919 床	800 床

引き続き、紹介受診重点医療機関に選定いただきますよう、ご高配のほどよろしくお願いいたします。